

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

日本コンサルティング株式会社

②事業者情報

名称：	ルミエール保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	市橋 榮子	定員(利用人数)：	63 名
所在地：	〒 337-0041 埼玉県さいたま市見沼区南中丸 9 3 9 - 5	TEL	048-683-1216

③評価実施期間

平成28年9月1日（契約日）～平成29年3月27日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

・「理念に向かって着実に成長する保育園」  
12年前、園長達は社会福祉法人を設立して、“一つの家族のような温かい保育園”をビジョンとして抱いて保育園を開設しました。それ以来、“福祉は人なり”の理念を掲げて保育園の設立と運営の充実に邁進してきました。この設立から運営に関わってきた家族や仲間の人たちが引き続き経営層として参画しています。従って、温もりを持った保育園の運営をめざして立ち上げた時の目標を共有して運営を続けています。その一方で、育成した人材、資金やノウハウなどを活かして諸準備を整えて、2年前に都内に姉妹園を設立して順調に立ち上げました。これまでの経験を活かして順調に運営されており、次の拡充の計画も検討しています。当園の大きな特色は、ユニークで先進的な教育カリキュラムです。最新の子育て理論に基づき、子どもの発達に役立つものを沢山含んでいます。例えば、・石井式漢字教育・ミュージック・ステップ（独自の音楽メソッド）・体操教室・英語教室・絵画造形教室・立腰・百珠算盤 などです。園としては、これらを指導できる人を身近に育成して、さらに充実させたい所です。アンケートによれば、これらの理念や特色あるカリキュラムは、利用者家族から高い評価を得ており、保護者や職員からの期待は大きいものがあります。

・「子どもの成長発達に見合う養護と教育課程の保育が充実しています」  
子どもの成長過程を踏まえたカリキュラム内容になっています。子どもの発達を年齢別による基本とした養護と教育課程を明確に行っています。未満児における子どもの支援は養護が主体となり、教育課程を養護の内容に加味させています。以上児の支援は、養護の点検と確認があり、教育課程が膨らんできています。具体的には、未満児の生活習慣の獲得であり、基本的な運動能力の発達保障を支援しています。以上児は、就学を目指しての養護の獲得と点検になり自立を目標にした指導になり、教育課程におけるカリキュラムが子どもの集中時間を踏まえて指導をしています。保育所は、子どもの年齢に見合う、一人ひとりの子どもの成長発達を踏まえた養護と教育課程の保育が充実しています。

・「手づくりの給食と楽しい食事時間の提供があります」  
給食は、各年齢に見合った献立が作成され、旬の食材を使用した提供があります。管理栄養士など調理員が中心になって子どもの食事に対する意識を明確にし、食材の吟味もしています。子どもたちは、自分の食欲に合わせた食事の量と発達年齢に見合った食事のマナーの指導を受けています。具体的には、箸の使い方やメニューの食材を一つひとつ保育士より説明を受け、道具の使い方を学び、自分の好きな食材と献立内容を増やしています。アレルギーのある子どもに関しては、医師の診断のもとに保護者との確認を行い、除去食にて提供をしています。保護者の声では、食事に関する内容がとてもよく評価されています。

◇特にコメントを要する点

・「次世代リーダーの養成」

開園メンバーの永年の努力により、素晴らしい理念、良いカリキュラム、やさしい職員による良い保育を行い、保護者達からよい保育園としての評価を得ていることは素晴らしいことと思います。一方、職員さんのアンケート調査によると、園運営に対する評価にばらつきがみられるようです。評価が高い点は、「・理念や方針・利用者を尊重する福祉サービス・人材の確保・働きやすい職場環境・職員研修」等々、評価が低い点は、「・中長期的ビジョンは知らない・経営環境はよく分からない・情報公開できていないか・地域との交流や連携不十分か」などを挙げています。まとめると、福祉本来の子どもへのサービスや職員の就業環境などに付いては高い評価をしていますが、反対に、施設の経営問題等に付いては余り分からない、ということになっています。つまり、最近の首都圏の求人難の影響下にあって福祉職員の離職率が高くなってきたことの影響もあるかと思われるのですが、経営層と職員との意識のギャップがあるようです。一方で、法人としては今後の中期的展望として施設を拡充する為には経営的視点を理解する人材が必要不可欠となるとすれば、次の世代に施設を牽引できるリーダーが必要となるのではないかと思います。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

保育については、お子さまを第一に考えて進めてまいります。また、保護者様の保育園に対する高い期待についてあらためて理解することができました。保育カリキュラムをはじめ、日常の保育についても日々向上できる体制を今後もしっかりと構築してまいります。

職員に対して、中長期の経営方針がしっかりと伝わっていない部分があるようです。園として、法人として、中長期のビジョンを職員にしっかりと示し、それを実現するための保育を実践していきます。さらに、中長期の経営計画に見合った人材育成、人材配置をしていきます。

子どもたちが健やかに成長する環境をつくるためには、それをしっかりと担うことができる保育士が必要となります。すぐれた保育士を育成するためにも、働きやすい職場環境をこれからも整えてまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり